

はい、では、第6課のパート2の  
文法です。11番から17番までカバーし

ます。まず最初、「~わけだ」というパターン  
なんですけれども、意味としてはですね

「that's why」。例えば  
ちょっとこれを見てください、

3番を見てください。「ヒーターが止まっている。  
寒いわけだ。」そう、ここにシチュエーション

があります。そして、「that's why」  
寒いわけだ。

それから、例えば4番をちょっと見て  
ください。「スミスさんは日本に20年も住んでい

たんですよ」「あなるほど、それで日本語が」  
「that's why he is good at Japanese」

「日本語がとても上手な  
わけですね」こんな風に何かちょっと

コンテキストが必要です。それから、  
ちょっと文法的な

structureの問題なんですけれども  
この「わけ」というのは

名詞、nounです。ですから、な-adjecitive  
が来たら、「上手なわけです」。

それからですね、  
い-adjecitive、

それからverbの場合には  
これplain form。

名詞の場合なんですけれども、これ「な」  
も大丈夫です。「やっぱり、人間なわけですね」

「人間の」もどちらも大丈夫だと思います。

あんまり、この名詞は使えないないん

ですけども、大抵は「上手なわけですね」、  
「早いわけですね」、「寒いわけですね」、それから

「来るわけですね」とか、この風に  
predicateがよくきます。この「わけ」と

いうののpart of speechはこれは  
名詞というのを覚えておいて

ください。はい、12番です。これ  
「Nounでよければ」、というので意味として

はもう、「if this noun works」  
「if it is Ok With this noun」と

いう意味なんですけれども、例えば「この  
辞書で良ければどうぞ」「if it's Ok with

this dictionary then」  
どうぞ。という「コーヒーでよければ、すぐ

入れられますよ」というですか、「何々で」これ  
「良かっ

たら」、これも同じ意味です。「コーヒーで  
良かったら」、「コーヒーでよければ」要するに

ですね、日本語の -えばform、それから -たら  
formっていうのは、英語の「if」という

意味を表し  
ます。はい、13番です、「結構」というもの

これadverbなんですけれども、英語  
で訳したら「fairly」とか、「pretty」

なんです、ここにあるように、  
「speaker feels the degree

of something is not high but  
is higher than average」

よく来るのは、「結構  
adjective」。それから「結構、何かpredicate」

なんですが、例えば「結構便利だ」とか  
「結構面白い」、こんな使い方があり

ます。はい、14番、「なかなか」なんですけれども  
これもですね、前に勉強した「結構」と

意味がとてもよく似ています。「quite」とか  
fairlyなんですけれども、少しちょっと違うっていう

のがここですね。「speaker is  
impressed by the way

something the way it is」。  
要するに、何かポジティブな、

「better than expected」というような  
ニュアンスがあります。例えば、

これ、「この間の旅行はなかなか楽しかった」  
ですか。

「It was a lot fun than I  
expected」。何かこうポジティブな

リザルト、それから「なかなか上手にかけた」。  
これも何かこうポジティブな

リザルト、これをいつも表し

ます。はい、15番、「そういえば」なんですけれども  
もうこれはまそのまま覚えて「talking about that」

なんですけれども、何かコンテキストが  
必要ですので、気を付けてください。

そう、例えば、「今日田中さんクラス休んだね」。  
うん、「そういえば昨日、お腹が痛いって言っ

ていたんだよ」。だから、ここのコンテキストが  
必要です。「that reminded me

of the fact that」とかですね。それから、「昨日友達の誕生日パーティーに行ってきたんだ」。

誕生日パーティーに行ってきたんだ」。「あそういえば」「talking about that」

これもこのコンテキストが必要です。それだけ気をつけて

ください。はい、16番、「~ということ」なんですけれどもこれはですね、ここの説明に

もあるんですけれども、そう「ということ」  
changes the sentence into a

noun clauseですから、英語で言うと、「the fact that」とか、

「the fact such that」。  
こんな風にですね、この何か文の

ところを名詞にnounにすると  
いうファンクションがあります。例えば、

ちょっとこの3番を見ましょう。「この大学はレベルが高いということで知られている」。

もちろん、「この大学はレベルが高いこと

で知られている」。これも大丈夫です。この「と」の前には、いつもこれ

plain formでお願いし

ます。はい、17番、最後のパターンです。これはpassive knowledgeなんですけれども、「~は~

となっている」。何かルールを表す時に使います。例えば、「この映画は午後7時からと

なっています」。「It is decided from/after 7 pm」。

例えば、「日本語6のセクション1は午前

9時からとなっています」。こんな使い方をし

ます。ここでちょっとコメントなんです  
けれども、ここあの5時、例えば午後7時

からだとなっている、この「だ」はいいません。  
これ気をつけてください。これもそうですね。

「大学院の割合は25%となっています」

「25%だとなっています」「だ」は入れないで

ください。